

メインプログラム「旅する遍路小屋」
とあわせて楽しみたい

関連プログラム情報

海ギャラ

チル アウト

CHILL OUT

海のギャラリーを深掘りするための関連プログラムを用意しています。

普段建築の仕事や勉強をしている皆さんが、建築の奥深さを知るための建築関係者向けプログラム（11月8日）

日常触れることのない分野へ、一步踏み出すための一般・観光者向けプログラム（11月21日～23日）

もちろん、ご興味があればどちらのプログラムにもご参加いただけます！

一般・観光者向けプログラム【建築ツアー】

風土がはぐくんだ建築・景観を巡る

日時：2020年11月22日(日) 午前10時～(午後5時頃終了予定)

※本プログラムは、裏面のギャラリートーク②「海のギャラリー建築ガイド」が含まれます。

高知県産木材を使った学校建築、歴史ある民家、特徴のある街並み、など、普段は見学できない場所も含め、ご案内致します。それぞれについて、歴史や背景、専門的な知見についての解説つきです。地域の資産である貴重な建築を、今後、どう活かし、運営・維持していくのか？ イメージをふくらませながら、体験してください。

県立清水高校格技場 : 13.9m 四方の八角錐(すい)を籠のように組み重ねた構造。

スギ、ヒノキの重ね梁が使われています。(土佐清水市、1995年、上田建築事務所)

ジョン万次郎生家 : 2010年に復元された、わら葺屋根の小さな家。一枚の写真をもとに

図面を起こし、建築されました。調度品もしつらえ、当時の暮らしを偲んでください。

吉福家住宅 : 網元の家として核となる民家。明治33年(1900年)の建築で、国の重要文化財に指定されています。江戸期の武家、農家、漁家、の特徴を合わせ持ち、2階の部屋から海が見えます。今後、この家を、どう活用していくのか？ このツアーでその種をまいてみませんか？

津呂の生垣 : 海が近く、台風の直撃から家や暮らしを守るため、ヤブツバキの生垣で囲まれた地区。樹齢は100年を超え、その高さは、屋根に届くほど。住民自らが剪定を行い、今も美しく維持されている。

参加費：3,000円(昼食代、ガイドブック、保険料込み) 募集予定：10名

集合：海のギャラリー(ギャラリートーク後に、昼食、ツアーとなります)

申込方法：締切 11月15日(日)・お名前、当日の連絡先、居住地(都道府県のみ)、年齢、集合場所までの移動手段を以下まで、お知らせください。メールでお申込みの場合は、確認のメールを、お送りします。メール：ug.chillout@gmail.com、電話：080-3399-6102(担当：佐倉)

注意事項：駐車スペースに限りがあるため、相乗りで車にて移動予定です。お昼は、地元の旬の素材を使ったお弁当となりますが、アレルギー等ある方は、事前にお知らせください。



※海ギャラ Chill Out の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染状況を注視しながら準備を進めております。各プログラムの実施にあたっては、3密を避け、マスク着用をお願いする等の措置を取る予定です。

※最新の情報に関しては公式 WEB サイトや公式 Facebook でご確認をお願いいたします。



※このページ記載の関連プログラムは、事前申込不要・無料でご参加いただけます。

※今後の海ギャラ Chill Out 運営費にあてるため、プログラムご参加にあたりガイドブック(500 円)購入のご協力をお願いしております。海のギャラリーの入館料を含み、足摺海洋館 SATOUMI や海底館が2割引と、お得となっています。同3施設で11月初旬よりご購入いただけます。

※いずれも海のギャラリー前芝生園地(土佐清水市竜串23-8)が会場です。海のギャラリーの営業時間は、9:00~16:00(毎週木曜日休館)です。

建築関係者向けプログラム【ギャラリートーク①】

遍路小屋設計者・棟梁による作品解説

日時:2020年11月8日(日) 午前10時~

※作品は11/7(土)に建方、11/29(日)に解体の予定です。



旅する遍路小屋(五月祭作品)『ほんだまりん(写真左)』と『「卍」組(写真右)』の設計者・棟梁(東京大学大学院学生)に、デザインの発想やコンセプト、加工や建方での工夫を、作品を前にして解説していただきます。林雅子さんが海のギャラリーで表現した「空間の骨格」を、この2作品は四万十ヒノキを用いて表現しています。つくり手から、近い距離で直接お話を聞けるチャンスです。

建築関係者向けプログラム【シンポジウム】

海のギャラリーの構造デザインを読み解く ~旅する遍路小屋を通して~

日時:2020年11月8日(日) 午後1時~

※本プログラムは、(一社)JSCA 四国支部との共催プログラムです。

木質構造設計の第一人者・稲山正弘氏(東京大学教授)と地元四国で活躍する構造家らを迎え、海のギャラリーを構造デザインの視点から深掘りします。構造デザインに興味があったけど躊躇していた方、不思議に思っていた海ギャラの造形の秘密を知りたい方、新しい世界に一步踏み出してみませんか? 同日の【ギャラリートーク①】終了後(午前11時~)、登壇者と海ギャラ・ミニツアーを開催します。

一般・観光者向けプログラム【ギャラリートーク②】

海のギャラリー建築ガイド

日時:2020年11月22日(日) 午前10時~

※本プログラムは、表面の建築ツアーにも含まれています。



海のギャラリー設計者である林雅子さんの事務所(林・山田・中原設計同人)元スタッフ・白井克典氏と、日経 BP 社編集部勤務後に編集事務所を主宰しながら取材・執筆など幅広い活動をしている建築ジャーナリスト・磯達雄氏を迎え、対談を行います。元スタッフの視点、建築ジャーナリストの視点から見えてくる林雅子と海のギャラリーの他で聞く事のできないとおきのお話。海のギャラリー現地で繰り広げられる上質な時間をお楽しみ下さい。

共通プログラム

こども茶道教室の子どもたちによる お接待 / 高知市人気 CAFE による BOOK CAFE

日時:2020年11月21日(土)~11月23日(月・祝) 午前10時~午後3時

海ギャラ Chill Out のコンセプト「日常から離れてゆったりゆったり過ごしなが、自分のいる世界を見つめ直す、見たことのない世界をのぞいてみる」そんなひと時を提供する BOOK CAFE。海ギャラのテラスや芝生に寝そべて、ページをゆっくりめくってみませんか? 22日(日)は高知市のカフェ terzo tempo (テルツォ・テンポ)さんと小さな書店 とおお文庫さんによるブックカフェを、21日(土)と23日(月・祝)はとさしみずこども茶道教室の子どもたちによるお点前(無料)をお楽しみください。

◀ terzo tempo コーヒーと焼き菓子販売 ・ とおお文庫 書籍販売 ・ とさしみずこども茶道教室 お茶のお点前(無料) ▶

◀お問合せ先▶ 海ギャラ Chill Out 実行委員会事務局 メール:ug.chillout@gmail.com 電話:090-1324-1507 (担当:黒井)